日刊【1】（線月曜）　昭和25年10月6日第三種郵便物認可　昭和26年7月19日運輸省特別扱承認第684号

磐城日日

昭和27年（1952）1月23日（水曜日）　第445号

磐城日日

發行所　磐城日日新聞社
福島縣小名浜町港廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼發行人　長瀬芳郎

賑やな植田の初町會

手當支給で大論爭

公民館長も矢面に立つ

植田町初町会は二十日午前九時半より役場会議室に於いて開催、本会議に先立ち森産経済委員長より委員附託となつた所管事項について植田保育所の建築工事の状況、新設道路小名田線の急速実施これと關連して営林署官舎に通ずる道路の改修、保育所に通ずる道路の縣道編入等を説明した

これに対し成瀬議員より具体案ありやの質問あり今俄に縣道にすることは附近住宅の移轉問題等よりみて國道の支線とした方が将来性もあるとの意見があつたためそれを容れることになつた

また小名田線については鷲議員より町独自の計畫かの質問あり吉田助役より農道として四十万円の補助査定があつた旨を説明した

次いで成瀬教育社會委員長より前議会に於いて附託になつた町條例審議の件につきこの問題は充分検討の要あるを認め現在報告の域に達していないと報告して議案の審議に入る

第二號議案＝植田町褒賞條例制定の件

これは自治の改善發達若しくは地方改良上個人又は団体を表彰することは町政の運営上好結果を得られるという觀点より提案されたもので異論百出してまとまらず議長は成瀬議員の提案を示して原則的には全員の賛同を得たので内容について總務委員會に附託し再檢討することになつた

第二號議案＝昭和二十六年度植田町歳出更正豫算の件

これは公民館が独立したため四万九千百圓の出資につき豫算面より削除したもので助役並に公民館主事より内容の説明あるや俄然議論沸騰して遂に舟生校長の出席を求め、豫算編成について質問等三十分に亘つて執行部員に手当支給の是否につき小野塚、成瀬議員より活發な意見がありその他公民館の移轉についての問題等議論百出したが結局議長一任となつた

次いで来る四月十日は植田町政施行三十周年に当るため当日の行事につき協議、豫算も大体五十万圓位ではとの意見もあつたが次回に於いて検討することになり、具体案については理事者に一任することになつた、これについて町当局の腹案としては

一、自治功労者の表彰
二、町勢要覽の發行
三、記念植樹（街路樹）
四、植田小唄を懸賞募集
五、町内各種團体と協力して余興を催す

等である

高萩君斷然一位

郡市選で見事獲得

既報縣教育委員會石城出張所並に郡連青共催の第五回青年産業振興大会石城郡豫選は二十日午前九時から石城地方事務所会議室に於て開催された

参加選手は小名浜第二青年会二、磐崎二、草野二、山田一、四倉一の八名で農業技術部三、農業經營部五で工業、水産部門及女子の参加のなかつたのは淋しかつたが、結局熱戰の上左の如く入賞決定した

一等「二毛作菜種栽培について」　小名浜第二青年会　高萩儀一
二等「煙草耕作を打込んだ農家經營」　草野村　江尻清美
三等「吾家の經營と養鶏」　山田村　秋山武夫
四等「農協の強化によつて農村再建を圖る」　四倉町　須藤久男

惜しくも「胡瓜の育苗について」をもつて出場した小名浜第二青年会の竹原太市君は五位で選外に洩れた

審査員は荒井縣園藝原種農場長、吉田縣農業委員榎内石城地方事務所經済課長の三氏で、各選手とも二年乃至三年に亘つての実踐研究及び体験の發表であり、場内をうずめた聽衆に多大の感銘を與えて午後四時閉会したなお来る二月十六、七の兩日の福島市縣立農蚕高等学校に於て行われる縣大会には本部代表として農業技術部に高萩儀一、農業經營部から江尻清美二君が出場するほか特に水産部門として小名浜から一、女子代表として小名濱第二青一、の二名が推せん出場する筈である

市井氏委員長に

平市公安委員會

平市公安委員會は十八日平市役所会議室に於て委員会を開き委員長の選出を行つた結果市井茂氏を選任、續いて議事規則勤務條件不利益處分などについて審議した

教職員の研究物展示會

學校運營委員會の日程

菊多方部

菊田方部学校運営委員會では次の日程により研究会を開く二十二日：田人中学校に於て衛生研究会二月十六日：植田中學校にて學校評價研究会、二十三日：田人小学校、二十六日：上遠野中學校、二十七日：勿来第二小学校、二十九日：山田第二小学校

菊多方部の配給主任會

泉村役場主催による舊菊多方部三町七ヶ村の配給主任會議は十八日午前十時より泉公民館会議室に於て開催、米の業者登録替についての事務打合せ並に研究をなし午後二時閉会、續いて泉驛前富士食堂に於いて新年宴会を催し午後四時散会した

電話新設

平職業安定所小名浜分室では今回電話を新設して求人、求職者に一層便宜を圖ることになつたが番號は小名浜局四六七番である

灰田勝彦氏常磐へ來る

常磐炭礦では全礦の硬式野球部後援会の發會式をかねて灰田勝彦とハワイアンバンド一行を招き二十六日午後一時より平公会堂、二十七日午後一時より内郷町淺野会館、今日午後六時よりは湯本町自治会館に於いて従業員の慰安会を開く

暮から正月へ

東北の奇習 ⑮

東方朔の占

岩手縣花巻地方の農家ではいつの頃からか不明であるが「東方朔祕傳覽文」という古寫本を大抵所持している

舊正月十五日の夜百姓達はそこに行つて、覽文をみてもろう、これは男衆のこと、きまるが女達は「御歳神樣」を遊ばせると稱し巫子のところに行き豊凶について聞くを例とする、その覽文は次のようである

〇〇の年は大風あり牛馬わずらい多く死す、四月五月疫病流行る、六月七月雨降り雷なる、八月水あり麻菜又は胡瓜類よし、多の氣に至りて寒ずる水大いに凍るといつたようなものである

塞土神祭

山形縣西置川郡山戸村大字五十川では舊一月の三十一日、午後五時ごろから六時ごろまでの間に胡桃の木でこしらえた「ホダル」を社木の枝に投げかける、これはその年の農作物の豊穣を祈り夫婦和合、良縁を求めるためだといわれている、なおこの夜の午後八時頃から村の若者達が河内神社に參集し式三番叟及び能樂の舞を奉仕する

松明祭

酒出市効外の光丘林で正月の十六日に氏子の災厄をはらい、幸いを新請し併せて豊作大漁を祈るために行われる祭が松明祭である

白のもゝひき、白脚胖、刺子の上衣に神社の印絆天を着て白鉢巻といういでたちの勢子（勢子は氏子中から六人の有志を選び三人宛東西に分ける一方を浜といゝ一方を里という）は十六日朝七時ごろ日枝神社に至つて祈願の式を濟まし、それから町内各家を廻り歩るく各家々では酒や馳走を出して勢子をもてなす

さて、一方山では藁を積んで高さ四、五間のものを二個つくる、一方を浜の仁王一方を里の仁王という、午後五時ごろになれば笛、太鼓をもつて準備の出来た合圖をする、これを聞くと勢子達は一散に駈けつけ自分の仁王に火をつける、早やく燒け終つた方、例えば浜の方が早やければ今年は大漁で、里の方が早やければ豊作だとしている、昔は場所は山王山であつたが火災取締のため近年こゝに移つた、なお山王山で行つていた当時は勢子を途中に待ち伏せて行くのを遮り、或は仁王の周圍で火付けを邪魔して、自分の方に早やく火をつけさせようとしたとのことである

またこの地方では門松、古いお札、古いお宮等もこゝに搬んで焚く慣例である

メモの日今

スタンダール生る（一七八三年）

大賣出し

大付引福引當り

世界一キヨリノ

お買物なら……中島商店街へ

★賣出期間＝舊12月24日ヨリ　舊12月30日マデ★　五本に一本は必ず當る！

印刷の御用なら　小名濱町　長瀬印刷所

藤越　お楽しみ福袋付　大売出

☆特價奉仕品の一部☆

ウラ毛大人メリヤス		350円
綿	縞	335円
夜具	地	335円
優良化繊服地	ヤール	180円
別珍大人足袋		99円
綿手拭		25円

〔良い品をより安く〕のモットーのもとに御贈答用品を多數取揃へて皆樣をお待ち致して居ります

年末年始の御贈答には是非御便利な藤越の商品券を御利用下さい

賣出期間　舊12月23日より　舊1月3日まで

小名濱　藤越　電561

26日（旧大晦日）開館！

舊臘來鋭意施工中の皆樣御待ち兼ねの金美館は皆樣の絶大なる御援助によりこの程完成致し來る26日（舊大晦日）に開館致すことになりました。今後共皆樣の御愛顧御支援の程御願い致します。

小名浜本町通り　館主　草野庄平　金美館

本町通り
第一小人口
小泉金物店　鈴木寫眞館　小泉屋書店　新米菓子店　福島相互銀行　石井醫院
金美館

【第445号】　昭和27年（1952年）1月23日（日曜水）　日日日　磐城日日新聞　新聞定価一カ月60円　一部3円〔休刊月曜〕　可認物郵便種三第

密漁に怯怯怯る小舟業者

死活問題と對策練る

引揚業者の自覺を待つ

小名浜町及び江名町には近岸漁業によつて生活を營んでいる小舟業者が三百余名あり、これら零細漁業救濟を目的として縣では補助を與えて鮑の養殖をなしたが、近時頻々として密漁が行われているに鑑み小舟組合では當局に對して嚴重なる取締方を繼請すると共に、組合員自体も漁場の確保に日夜努力を拂つてきたが年々資源は減少の一途をたどつている現狀であるところに、組合員以外の所謂密漁濫獲によつてはその底をつくことも火をみるより明らかであり、その結果縣並に水產試驗場に於いては小舟業者救濟の一環として昨年末鮑の稚貝を購入放殖したものである、これら業者は現在の過度期にあつても自漁を抑制してその時期の到來するのを鶴首しているにも拘らず心なき者の密漁によつて貴重なる資源を荒らされることは二千人に及ぶ零細漁民の死活問題であると怨嗟の聲が昂じ生活擁護のためには憂慮すべき事態を引起さぬとも限らぬ段階にあり小舟組合が今後如何なる態度に出るかが注目されている

目下小名浜港外に於いて爆彈引揚作業中のサルベージ四会社の引揚船乘組員が密かにこれら漁場を荒し數回に亘つて現場をつきとめられていたにも拘らず十七日またまた密漁現場を摘發されるに至つたもので當日は相當量を盜獲しており今日まで引揚業者の紳士的自覺にまつて穩便にしていたが小舟組合としても毎日の如く盜獲されるとなれば養殖どころか獲りつくされるおそれもあり、小舟業者は自滅するより外なく關係當局に對して善處方を要望すると共に業者間に於いても對策を練つている

平競輪始まる

小名濱より無料バス

二十七年度第二回平競輪はいよ〳〵來る二十七、二十八、二十九の三日間の前節が開催されるが、出場選手は三日間行われる後節ともにA級十六名、B級四十八名であり、優秀選手はA級の大西敏明（千葉）小林喜八（群馬）菊田永男（茨城）B級には足の強い池谷貞夫（山梨）レース上手の石橋實（茨城）追込戰の上手な佐々木義八（長野）競輪の花女流選手では須田キミ（福島）小林美智子（長野）前回平競輪に於いて一着二回の山倉しつ（神奈川）高橋京子（群馬）鈴木智惠子（栃木）若干十七才で足の強い宇都宮に於いて優秀な成績をおさめた加古政子（群馬）倉品ミヨ（新潟）川島繁子（栃木）國本靜枝（埼玉）など人氣スターのオンパレードであり舊正月にかけてのことであればかなりの賑いが豫想される

なお開期中は前回同樣小名浜、勿來等よりは競輪場直通の無料バスを運轉して競輪ファンの便宜を圖る

植田で木炭品評會開く

植田、上遠野、湯本地區木炭生產組合連合会では來る二月十四、十五の二日間、木炭品評会を植田町に於いて開催することになり大會役員を次の通り決定した

会長　箱崎利勝（石城地方事務所長）

副会長　緣川喜澄、五所脇虎吉、平子作太郎

赤痢保菌者の一齊檢査

平保健所では十九日冬期傳染病對策の保菌者調査打合會を開いたが、昨年赤痢の多く發生した地區の保菌者の一齊檢査を行うことになり二十一日より二十五日までは好間村小館地區（患者六十名）二十八日より二月二日までは小名浜町大日本炭礦勿來所（患者六十八名）にて實施する

漬物講習會

泉公民館で開く

泉村公民館では十八日午後一時より石城地方事務所經濟課長榎内技師を招じて漬物講習会を開いたが三十余名の受講があり、これら受講者は一般家庭に對し原料及び鹽のむだのないよう普及すると意氣ごんでいる

中學生の電線泥

盜品は谷間等に隱匿

昨年九月頃より小名浜を中心に近郷に於て頻々として電話線が切斷され、小名浜地区署並に小名浜電報電話施設局では犯人捜査と警戒に大童であつたが、はからずも二十一日午後七時三十分頃小名浜電報電話施設局より小名浜、江名間電話線三百余米を切斷され盜まれたとの急報を得た小名浜地区署では非常召集を行い火葬場を中心として非常線を張り嚴重警戒中のところ、小名川丘十番地先道路上を通過する不審の中學生を職務質問したところ該生徒はブライヤーを所持しているところから犯行直後の歸途中とにらみ追究した結果おそるべき犯行の一切を自供したものである

該犯人はいづれも中学生徒で三名の共謀によるものであることが判明、直ちに三名を留置目下餘罪取調中である、犯人はいづれも小名浜第二中学校生徒で小名浜町林の上今野某（一六）江名町上神白字大平山田某（一六）同下神白字網取近藤某（一六）―假名―で盜品は最近古物屋では買受けないとうので時機をみて賣却すべく、谷間或いは川底に隱匿していたものであり親達は勿論、学校及各方面では今頃乍ら唖然としており、これら少年教育のあり方に「明日では遲すぎる」の感を深くすると共に更に教育のあり方を論議されている

防火啓蒙に奮闘

御代署長の陣頭指揮

小名濱消防署では御代署長はじめ田中消防司令以下全員防火啓蒙に日夜奮斗して來たが今日この頃の强風に備え勿論出動準備は寸分の隙もなくまた連夜に亘り小名浜町は勿論、泉、鹿島の兩村にも警戒竝に注意喚起巡回を爲して大いに感謝されているが舊正月も近ずき各戸の餅つきも迫つた特に舊二十日、二十八日の兩日には徹夜巡視警戒を爲すことになつた御代署長陣頭指揮の警戒に應えて各家庭に於ても一層火災豫防に特段の注意を拂われるよう要望している

レコードコンサート

カトリック教會

小名濱町定西小名浜カトリック教会姉妹会では二十三日午後七時より全教会に於てレコードコンサートを行うが一般多數の來聽を望んでいる

BS四隊の元日奉仕

ボーイスカート石城第四隊（小名濱）では舊元朝詣の善男善女の道明と採暖に供するため小名濱町飛行場を出發する時、この慈愛深い母親は例の黒の喪服の胸元に裏の塀際に咲き殘つていたバラの花をつけて見送りにきて何時までもクロイドン飛行場ホテルのテラスで吾が子の姿を見つめていたそして彼女は息子の乘つたダグラス機が砂塵をあげて滑走するまで、身じろぎもせずにハンカチーフを振る一般的の儀禮をしようともせず、ジツとこの世界にたつた一人しかない自分の血を直接呼吸している最愛の子供の遠い旅立ちを涙も流さず目ばだきもせずに見守つていた パークは母親のその時の慈愛に滿ちた眼を、どんなに酒に醉つた夜でも寢る前に兵舎の寢台の上で思い出すのであつた、すると堪まらない鄕愁にかり立てられて寢台からとびドリて跣き、遁けき東の方に深い祈りを捧げることを忘れなかつたのである

東洋の話をしている間に供一人にかけている母親にとつては、子供の切なる念願に對して口に出してはつきり反對することも出來なかつた

パーク中尉にしてもその母親の氣持ちは解り過ぎる位よく判つていた、父と別れて十五年間母はその時着換えした黒い喪服を着けた儘、一日たりとも派手な服を着た姿を見たことのないパークであつた

パークが極東派遣軍の中に編入されて將校先遣隊の一人としてクロイドン飛行場を出發する時、この慈愛深い母親は例の黒の喪服の胸元に裏の塀際に咲き殘つていたバラの花をつけて見送りにきて何時までもクロイドン飛行場ホテルのテラスで吾が子の姿を見つめていたそして彼女は息子の乘つたダグラス機が砂塵をあげて滑走するまで、身じろぎもせずにハンカチーフを振る一般的の儀禮をしようともせず、ジツとこの世界にたつた一人しかない自分の血を直接呼吸している最愛の子供の遠い旅立ちを涙も流さず目ばだきもせずに見守つていた パークは母親のその時の慈愛に滿ちた眼を、どんなに酒に醉つた夜でも寢る前に兵舎の寢台の上で思い出すのであつた、すると堪まらない鄕愁にかり立てられて寢台からとびドリて跣き、遁けき東の方に深い祈りを捧げることを忘れなかつたのである

東洋の話をしている間にも、ともするとパークはその別離を想い出さずにはいられないので、話はときどき熟心に聽き入る母親の氣持ちにそぐわない空虛なものに陷り勝ちであつた、また數日後にはクロイドンで再びあの淋しい母親の眼を見なければならないのであろうか、そんなに迄して自分は自分の任務と自己の出世のために遠い極東へ行かなければならないのかというようなことに內心不平ではあつたが、愛情をこの子の一人としてクロイドン飛行場を出發する時、この慈愛深い母親は例の黒の喪服の胸元に裏の塀際に咲き殘つていたバラの花をつけて見送りにきて何時までもクロイドン飛行場ホテルのテラスで吾が子の姿を見つめていたそして彼女は息子の乘つたダグラス機が砂塵をあげて滑走するまで、身じろぎもせずにハンカチーフを振る一般的の儀禮をしようともせず、ジツとこの世界にたつた一人しかない自分の血を直接呼吸している最愛の子供の遠い旅立ちを涙も流さず目ばだきもせずに見守つていた パークは母親のその時の慈愛に滿ちた眼を、どんなに酒に醉つた夜でも寢る前に兵舎の寢台の上で思い出すのであつた、すると堪まらない鄕愁にかり立てられて寢台からとびドリて跣き、遁けき東の方に深い祈りを捧げることを忘れなかつたのである

東洋の話をしている間にも、ともするとパークはその別離を想い出さずにはいられないので、話はときどき熟心に聽き入る母親の氣持ちにそぐわない空虛なものに陷り勝ちであつた、また數日後にはクロイドンで再びあの淋しい母親の眼を見なければならないのであろうか、そんなに迄して自分は自分の任務と自己の出世のために遠い極東へ行かなければならないのかというようなことに內心不平ではあつたが、愛情をこの子の一人としてクロイドン飛行場を出發する時、この慈愛深い母親は例の黒の喪服の胸元に裏の塀際に咲き殘つていたバラの花をつけて見送りにきて何時までもクロイドン飛行場ホテルのテラスで吾が子の姿を見つめていたそして彼女は息子の乘つたダグラス機が砂塵をあげて滑走するまで、身じろぎもせずにハンカチーフを振る一般的の儀禮をしようともせず、ジツとこの世界にたつた一人しかない自分の血を直接呼吸している最愛の子供の遠い旅立ちを涙も流さず目ばだきもせずに見守つていた パークは母親のその時の慈愛に滿ちた眼を、どんなに酒に醉つた夜でも寢る前に兵舎の寢台の上で思い出すのであつた、すると堪まらない鄕愁にかり立てられて寢台からとびドリて跣き、遁けき東の方に深い祈りを捧げることを忘れなかつたのである

東洋の話をしている間にも、ともするとパークはその別離を想い出さずにはいられないので、話はときどき熟心に聽き入る母親の氣持ちにそぐわない空虛なものに陷り勝ちであつた、また數日後にはクロイドンで再びあの淋しい母親の眼を見なければならないのであろうか、そんなに迄して自分は自分の任務と自己の出世のために遠い極東へ行かなければならないのかというようなことに內心不平ではあつたが、愛情をこの子の一人としてクロイドン飛行場を出發する時、この慈愛深い母親は例の黒の喪服の胸元に裏の塀際に咲き殘つていたバラの花をつけて見送りにきて何時までもクロイドン飛行場ホテルのテラスで吾が子の姿を見つめていたそして彼女は息子の乘つたダグラス機が砂塵をあげて滑走するまで、身じろぎもせずにハンカチーフを振る一般的の儀禮をしようともせず、ジツとこの世界にたつた一人しかない自分の血を直接呼吸している最愛の子供の遠い旅立ちを涙も流さず目ばだきもせずに見守つていた パークは母親のその時の慈愛に滿ちた眼を、どんなに酒に醉つた夜でも寢る前に兵舎の寢台の上で思い出すのであつた、すると堪まらない鄕愁にかり立てられて寢台からとびドリて跣き、遁けき東の方に深い祈りを捧げることを忘れなかつたのである

東洋の話をしている間に

橫手山の謎 ①

シンガポール要塞司令部附のA・Hパーク中尉は本國に一人の母親を殘して極東へ來てからもう二年になる、昨年の春は休暇をとつて故國へ歸省してロンドン郊外に、今は亡き夫の靈を護りながら淋しい生活を續けている未亡人の母に會つて、東洋の風俗や怪奇な傳說を食事の後の休憩時間に委しく話すのであつた

僅か一年間の別離の時間はこの孤獨な母親に十年間の年齡を短縮させるに充分であつた、その狹い額には見違える程深い皺が刻まれていた、一人息子が結婚もせず志願して遠いおとぎの國オリエント（東洋）へ出かけるということに內心不平ではあつたが、愛情をこの子の一人としてクロイドン飛行場を出發する時、この慈愛深い母親は例の黒の喪服の胸元に裏の塀際に咲き殘つていたバラの花をつけて見送りにきて何時までもクロイドン飛行場ホテルのテラスで吾が子の姿を見つめていたそして彼女は息子の乘つたダグラス機が砂塵をあげて滑走するまで、身じろぎもせずにハンカチーフを振る一般的の儀禮をしようともせず、ジツとこの世界にたつた一人しかない自分の血を直接呼吸している最愛の子供の遠い旅立ちを涙も流さず目ばだきもせずに見守つていた パークは母親のその時の慈愛に滿ちた眼を、どんなに酒に醉つた夜でも寢る前に兵舎の寢台の上で思い出すのであつた、すると堪まらない鄕愁にかり立てられて寢台からとびドリて跣き、遁けき東の方に深い祈りを捧げることを忘れなかつたのである

東洋の話をしている間に

繼母に追い出される

平公安室では十九日午後九時半頃横濱市鶴見區末廣アパート田中行夫（一〇）君＝假名＝を保護した、行夫は繼母ヨシさんに日頃つらく當られており今度も舊正月になるから富岡のおばさんのところへ行けと一錢の金も與えられず追出されてきたと語つており公安室では平市署と連絡して關係者に照会中である

天氣予報 23

（本日）北西の風で朝晩はかなり冷込み、大体よい天氣ですが山沿地方は時々雲がひろがりましょう

（海上）北西の季節風が時に稍々强くなり風波が立ちますから小型船舶は警戒を要します

魚菜市況 22

【小名浜中央青果市場】

ほんれん草五二〜八〇、唐いも九〇〜九五、牛蒡七〇〜七七、里いも七〇〜八五、人蔘三五〜三八、ねぎ四〇〜四五、大根二〇〜二五、馬鈴薯五五〜六三、へら菜二〇〜二五、干柿一ヶ六、切いも一五〇、油菜二〇〜二五、さつま三〇〜三五、あづき一升一四五〜一五〇、卵一ヶ七、九〜八、五

【小名浜魚市場】

松川四六〇、ぎす一四五いか六〇〜二三、たこ一八五、なめた四四〇、はも一八〇、たら一一五

営業部社員
小名濱在住　平市在住　若干名
年令不問履歴書持参
磐城日日新聞社

衣料品の店
サカエヤの舊年末最後の大奉仕
純綿メリヤス　ズボン
学童服　タビ類
オーバー　子供服
ジャンバー　マフラー
サカエヤ支店
小名浜町古港　電二〇四番

健康は早い手當と良いクスリ
これからの時節に多い
胃病　痔病！！
感冒！に
自信を持つておすゝめする
優秀藥用意してあります
虫下しクスリなら
長生堂藥局
小名浜町中島
電話三七〇番

正月用の御贈答品は
大菱のハキモノ
本年は特に品質を嚴選して
特價大賣出し中
大菱商店
小名浜町本町　電話四一一番

天然色長篇漫畫
白雪姫
世界のファンを熱狂させた漫画王ウオルト・デイズニイが初めて世に問うた長篇漫画で六百人にのぼる技術家が滿三年の歲月精魂を傾け大人も子供も完全に樂しめる天然色長篇漫画：御家族同伴必見：
22日―23日
小名浜町　磐城座

緋牡丹盜賊
誰が見てもぜつたい面白い
劍あり、戀あり、涙あり、大映が滿々の自信を以つて放つ時代劇
キヤスト
鶴子　郎
晶千　寿
寛川　村
多喜　嵐